

だ。

田鍋 (東京天文台): 新観測所の設置場所は、日本に限らなくてもよい。よい条件の場所を探し、少しいろいろな装置をまとめて設けてはどうか。

5. ま と め

小暮: 京都としては長期計画委員会を、研連委と関係なく、学会の中にも作ったらどうかと考えている。金もあることだから。

古畑: ワーキング・グループを拡大するとか、もしくはそれと平行に委員会をやって行くのが良いのではないかな。

大谷: ワーキング・グループでは技術的問題に走りやすい。根本的な考え方を議論する場所がほしいのだ。

海野: 研連委のワーキング・グループがしっかりやってくれば良いのではないかな。

杉本: ワーキング・グループ拡大がのぞましい。

藤田: ワーキング・グループに適当な人を網羅してやってみよう。

竹内 (東北大): それはそのやり方で充分だということか、そのやり方でないとだめだということか。

藤田: 前者の方である。

大木: ワーキング・グループをどうえらぶか。

藤田: ワーキング・グループに年をとった人が多いのは事実だが、適当な経験をえらんである。

一柳: 小委員会は研連委の人が入るが、ワーキング・グループにはできるだけ広く結集し、それに入った人はできるだけ広く意見を集めるようにしよう。またこういうオープンな話し合いも時々やろう。

古在: 私は単に今まで書記役をただただ。今後は誰か援助をしてくれ。

一柳: 藤田氏の提案の如くやり、小委員会でまとめて、

その後またオープンな話し合いをやって行こう。

宮地: その話し合いは学術会議の研連委主催でいいんじゃないか。

古畑: もう一回オープンな話し合いというが、実際時間的に見て機会を作るのが難しかろう。

小暮: ある程度メンバーを拡大した話し合いなら出来るだろう。

古畑: 私は難しいと思う。

土屋 (東京天文台): なぜ若手グループは学術会議に出ているような偉い先生に意見をつたえられないのか。

大谷: 京都では清水先生などを通じて、かなり意見はのべているが、それでも真意が伝わらないことがあった。

土屋: それは内輪の問題として内部で解決することであらう。

森本: 若い人が年よりと言葉が通じないということは一般的にあるだろう。だからオープンな話し合いの場に出て来たってやはり若い人は年よりと言葉が通じないのはかわりない。若い人は実力を獲得してその上で発言すればよい。

海野: ワーキング・グループで問題はかなり解決するだろう。また大ぜいで討論しても行きつく結論は大してかわりはないだろう。

竹内: どうしても納得できない人もこのころだろうが、ここでどうしても一つの意見にまとめるとなると、ファッショとなる。

一柳: 小委員会が発足しているのだから、今日の話をもとに計画を検討し、小委員会にあとをお願いすることになる。ニュースは必ず流すようにしたい。

編集部より——このシンポジウムの模様はテープに記録して学会に保存してあります。

賛 助 会 員 名 簿

旭光学工業株式会社
朝日新聞社科学部
アジア航空測量株式会社
アストロ光学工業株式会社
岩波書店
応用電気研究所
オリンパス光学工業株式会社
笠井出版印刷株式会社
梶原電気株式会社
カールツァイス株式会社
関西電力株式会社
関東電気工業株式会社
九州電力株式会社

鈴木幸三郎
高津真也
柏木秀一
小松良基
岩波雄二郎
唐沢大介
中野徹夫
窪田達雄
梶原家富
Johannes Maaz
芦原義重
関井忠夫
赤羽善治

倉敷レイヨン株式会社
恒星社厚生閣
甲南カメラ研究所
五藤光学研究所
金光教本部教庁
三栄測器株式会社
三省堂
島田理化学工業株式会社
新電子工業株式会社
住友化学工業株式会社
誠文堂新光社
測機舎株式会社
ソニー株式会社

大原総一郎
土居客郎
西村中子
五藤齊三
金光鑑太郎
丘山欽也
小倉正風
実武夫
山本和一
大谷一雄
小川誠一郎
西川末三
井深大

太陽社
谷村株式会社新興製作所
中部電力株式会社
地人書館
電気興業株式会社
天文博物館
五島プラネタリウム
東京精密測器株式会社
東京電力株式会社
東光通商株式会社
東北電力株式会社
東陽通商株式会社
ナルミ商会
日米商会
日本IBMデータセンター
日本光学工業株式会社
日本鋼管株式会社
日本出版貿易株式会社

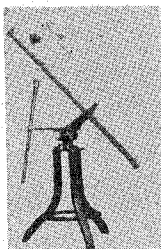
弘田道淳
谷村貞治
横山道夫
上条勇
萩原憲三
五島昇
池辺常刀
木川田一隆
小幡三雄
平井寛一郎
奥村喜和男
村上俊男
高野高之
佐田静夫
白浜浩
赤坂武
望月正捷

日本平富士観光センター
天文台プラネタリウム
ファコム株式会社
早川電機工業株式会社
半導体技術部
服部時計店
林建設株式会社
毎日新聞社学芸部
丸善株式会社
三鷹光機株式会社
三井造船株式会社
三菱重工業株式会社
三菱電機株式会社
ミノルタカメラ株式会社
八洲測量株式会社

坪井正
竹島芳雄
馬場幸三郎
服部正次
林米一郎
角田明忠
榛沢孝利
田中繁松
磯貝誠
佐藤貞雄
田嶋一雄
西村正紀
(56社)

個人賛助会員

東京都葛飾区堀切2の37 佐藤綱雄



15cm 経緯台

厳密なる精度・安価な値段
ニュートン式抛物面鏡(斜鏡付き)
8cm~30cm (アルミメッキすみ)
カセグレイン式抛物面鏡(補鏡付き)
20cm~30cm(アルミメッキすみ)
接眼鏡 (全面コーティングすみ)
オルソスコフィック5m/m, 9m/m
その他ケルナー、ミッテンハイゲン各種。

屈折二枚合成アクロマチック対物レンズ (光軸修正
枠付き) 有効口径 (8cm 以下製作中止) 8cm,
9cm, 10cm, 11.5cm, 15cm, 各口径 $f=1:15\sim 1:11$
接眼鏡: ラックピニオン二段式 40m/m 接眼鏡兼用



カタログ郵券 10円
3枚 (誌名記入)

架台: 全周ウオーム式。
上下微動: ネジに遊びのない独自の設計。
脚: 振動のないアルミニウム鋳物製。

完成反射望遠鏡各種

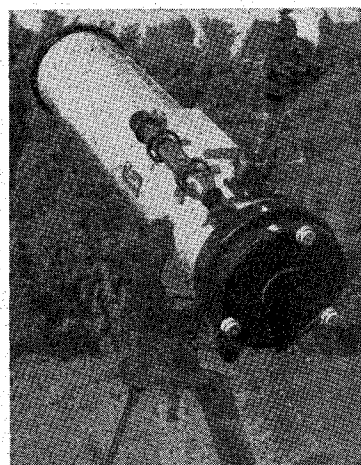
有限会社

足立光学レンズ製作所

東京都武蔵野市関前5丁目1,185
国鉄中央線武蔵境駅下車バス桜橋停際
TEL 武蔵野 0422⑤8614 番
振替口座 東京 41970 番



カンコー天体反射望遠鏡



二十種CG式焦点距離二段切換
天体反射望遠鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 抛物面鏡、平面鏡、軸外し抛物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡 (カタログ要 30円切手)

関西光学研究所

京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 ⑨ 0057

昭和40年6月20日
印刷発行
定価70円(送料6円)
地方売価75円

編集兼発行人 東京都三鷹市東京天文台内
印刷所 東京都港区芝南佐久間町一ノ五三
発行所 東京都三鷹市東京天文台内

広瀬秀雄
笠井出版印刷社
社団法人 日本天文学会
振替口座東京 13595